

【めむろ未来ミーティング日程 7】

令和5年1月12日（木）

13:30～14:24

祥栄ふれ愛館

（関山区、上関山区、祥栄区、新祥栄町、平和区、北明区）

■参加者 14人

■芽室町 町長、副町長、教育長、政策推進課長、農林課長、環境土木課長

■記録 政策調整係

■対応・検討が必要な事項

- ①国道沿いの観光物産協会の倉庫の件（魅力創造課）
- ②スケートリンク造成の重機の件（生涯学習課）
- ③畑に出入りする取付道路の拡幅の件（環境土木課）

1 開会

2 町長挨拶

3 町からの説明事項

資料1 公共施設等再配置構想

資料2 まちなか再生の取り組み

資料3 マイナンバーカード臨時窓口

資料4 芽室町 LINE 公式アカウント説明書

4 意見交換

【意見】

マイナンバーカードで、印鑑登録証明書をコンビニで発行出来ないが、いつから出来るようになるか？

【町長】

国が、マイナンバーカードの交付率が低い自治体に対して、補助金の率を減らす、地方交付金の減額

をするという話が出ている。国は、少し強引にマイナンバーカードの普及を進めようとしている印象を受けている。マイナンバーカード交付率が全国平均より低い、または2週間単位の交付率の伸び率が少ない自治体をフォローアップ団体として登録し、登録されると国から指導が来るという状況である。

現状、マイナンバーカードの交付は任意のため強制することはできないが、町民に作成するメリットが分からない状況にあるように思える。保険証の統合や、先ほどお話があったコンビニ交付など、マイナンバーカード1つで手続きが可能になってきて、今後マイナンバーカードの利用が将来的に私たちの生活に身近になるようになってくると思われる。マイナポイントが出るからではなく、住民サービスにどのようなメリットがあるのかを町民にお示ししないといけないと考えている。

北見市では「書かない窓口」を実施して、マイナンバーカードを活用した行政手続きもどんどん進んできている。ご家族も含めてぜひ、作成をお願いしたい。

また、次年度から役場の中にDX推進担当を置こうと考えている。①今の手続きが、デジタル化した時にできるようになるのか②法律上問題ないか③担当者間で連携するなどの調整があった上で、進めるべきと考えている。農業DXを含め、庁舎内の調整をした上で推進していく必要がある。担当を置けば解決するわけではないが、まずはスタートさせたい。

本町としても乗り遅れないようにDXを推進していきたい。

【意見】

現状の交付率は？

【町長】

約50%である。近隣自治体でいけば、池田町が1番高い。

【意見】

国が示している平均は？

【政策推進課長】

約57%である。

【町長】

先ほど約 50%とお伝えしたのは交付率である。申請率の場合は60%を超えており、それは国の平均よりも少し高い状況である。

【意見】

マイナンバーカードの臨時窓口を設置する前は、どれくらいの交付率であったのか

【町長】

数字は覚えていないが、かなり低かった印象である。

【意見】

農協の生産部会の会議に出た際に、役員の世代も様々で、未だに携帯電話を持っていない人もいる。持っていたとしても使い方を知らなく、直接教えるところなのに簡単なのかと気づく人がいる。

ドコモのスマホ教室にも参加したことがあり、こんな事しか教えてくれないのかと思ったが、高齢者は大変助かっていた印象を受けた。しかし、その日は簡単だと思っていた高齢者は、日々使用しないため、すぐ忘れてしまう。やはり高齢者と感覚のずれがあり、役場に専属の部署を作って、相談窓口を立て、細かい事でも教えてもらえるようになれば良いと思う。

町はまだ進んでいるが、農協はDX関連から、かなり遅れているイメージであるので、町と農協で一緒に推進してもらいたい。

【町長】

色んなDXがあるが、1番進めようとしていることは行政サービスと農業関連の2つである。国からも住民窓口の17の業務を早くデジタル化しなさいという指導もあり、まずそれを実現するという事が大事である。また、行政サービスでは、主に子育て関連と住民票関連のDXを早期に進めていきたいと考え

ている。

庁舎内の町民ホールに設置しているマイナンバーカード交付の臨時窓口では、多くの町民に来ていただき、ある程度満足されて帰られている印象。交付された後に、どのように活用していくのかという取扱いの説明や啓発が今後重要であると考えている。

余談であるが、Mカードの登録は70歳以上の世代が出てきていて、積極的に活用しているという話を聞いているので、高齢者には使いこなす「慣れ」が大事であると感じている。

【意見】

国道に倉庫があり、JAの青年部などで氷灯夜や夏フェスで今後活用予定があるが、中から資材を運ぶ際に、中が整理整頓されていない。足場が限られているため、難しいのかもしれないが、これから各関係団体が活用することを踏まえて、中の整理整頓をしてほしい。①

また、農業DXに関して、役場から青年部に話がいったが、JA青年部の世代が経営を任される段階に入ってきており、農業DXは多様に活用されると考えているため、町として積極的に推進していただきたい。

【副町長】

倉庫の中身は、観光物産協会と町の備品で雑然としている。倉庫が3棟あり、1番手前の倉庫が使い勝手が良いと思われ、その倉庫から整理整頓を始めることが良い。観光物産協会と状況を確認し、整理整頓するよう指示したい。

【町長】

イベントも復活してきており、倉庫は整理整頓して有効活用すべきであるとする。

町としては、光ファイバーを先行して行ったが、それを有効活用しないと意味がないと考えている。JAと連携し、JAで行う調査・手続き関連もDXを絡め、JAに足を運ばなくても手続きできるようになれば良いと考えている。

【意見】

DXは役場とJAが連携して、ぜひ進めて欲しい。倉庫は、格納する箇所を示す図面を書けば誰でも分かるため、良いのではないかな。

【農林課長】

農業分野におけるDX化は、農業DX構想をまとめてその構想に基づいて、JAと連携して推進していく予定。昨年10月から、農業ICT会議を3～4回行っており、検討を進めているところ。

農業DXには色んな分野があり、大きく分けると①生産現場関係、②申請・調査の事務関係、③農村地域の生活に関するものの3種類がある。生産現場で進められている他の自治体は、上士幌町や更別村があるが、先行事例を参考にしつつ、芽室町の農業者がどこに困っていて、それをデジタル化することで、どう改善され効率化が図られるのか、色んな意見を聞きながら進めていきたい。

具体的には、町が行っている経営実態調査をA3用紙で提出いただいているが、提出方法や、調査項目を抜粋出来ないか等の見直しをしている。JAと温度差が合ってはいけなないので、町・JA・農業者の3者で、それぞれが進めて行けるようにしていきたい。

今後は、青年部や、経営者の方と意見交換をしていきたいと考えており、細かいことでも構わないので、何かご意見あれば連絡をいただきたい。

【意見】

昨年の6月に行った未来ミーティングでも話したが、学校・保育所の跡地利用に関して、早期に決定していくのは難しく予算の事情もあるだろうが、建物の老朽化が進んでいるため、一度に全てで無くても良いので、古い順から取壊しを進めていただきたい。計画で挙げていただいて、予算の付く範囲で、更地に戻していただきたいので、話を進めてほしい。

まちなか再生について、現在の市街地は、コンパクトじゃなく古い街並みのままになっており、駅前なのか大通りなのか、どこがまちなかなのか分からない状況であった。お金もかかるが、少子高齢化の中で、車が無くても使いやすいコンパクトになるな

ちなかになっていけば良いと考えている。外から来た人が、ここが芽室の駅前なんだと分かるように進めていただきたい。早く手を付けないと、商業者の人もいつまでも待ってられない状況であると思う。

【政策推進課長】

祥栄小学校の取壊しは、その後の有効活用をセットで考えている。例えば、

①宅地化するとした場合は、今ある建物とセットで業者に売るという場合がある。

②町で何か施設を建てる場合は、建てる構想とセットであれば、解体費も補助の対象となる可能性がある。

そのため、まずあそこの施設をどうするか決めるために、今年度中に地域の皆さんと打合せをしたいと考えている。スケジュール等を示し、地域の皆さんの意向も踏まえて検討を進めていきたい。

【町長】

大きい校舎の話は政策推進課長の言った通りであるが、小さい建物であれば、解体は進めていけると考えている。

【意見】

あの広い場所を1つの事業で全て実施することは難しいように思える。年末に役場の担当職員から地域と打合せ時期について、連絡もらったところであるが、地域に話せる内容が出てきた際には、日程調整をするので連絡をもらいたい。

【町長】

構想案があればすぐにでも地域の方にお話したいが、現状は何もない。しかし、今ある建物を残置することが、環境的にも良いのかという課題もあるため、考えなければいけない。

まちなか再生に関しては、町としてどう考えるのかという事を示さなければいけない。中心市街地には住宅やアパートなども建設されてきている状況であり、それは行政が止めるわけにもいけない。今後は、住宅が中心市街地に隣接している中で、どうい

街並みを描いていくかを考える必要がある。もう1つは中心市街地に、集いの拠点を整備していく必要があると考えている。民間の力を借りながら、官民連携で取り組む必要がある。

【意見】

ライジング跡地は3月に解体する話を聞いたが、確定事項か。

【町長】

構想レベルでは聞いているが、確定事項ではない。

【意見】

スクールバスの事故が2年前にあり、年末に大雪が降ったタイミングで、スクールカウンセラーの方から、その後子どもの様子はどうか？という連絡をもらった。フォローが手厚く、しっかりしていると思い、大変有難いと感じている。

スケートリンクについて、リース車両で重機・散水車を使用して造成しているが、町営である芽室中学校グラウンドのリンク造成はPTAで対応をやめて、芽室西小学校でも、PTAと先生の中で、リンク造成の対応が厳しくなっているという話も聞いている。学校の授業として、今後もスケートとスキー学習が2本立てであるのであれば、リンク造成に係るリース車両は毎年高額な費用となるため、リース車両ではなく町で車両を揃えることを検討してもらいたい。初期投資がかかることは承知しているが、中長期的な視点でも今後ずっと学校の授業でやっていくのであれば、町で車両等の確保をお願いしたい。修理などで維持費がかかることは承知しているが費用対効果を含めて検討していただきたい。②

【教育長】

事故に関して、2年前に生徒の皆さんに非常に辛い思いをさせてしまい、申し訳なかったと思っている。継続して、これからもサポートしていきたい。

持続可能なリンク作りとして、借上げ、または自前なのか、どちらが良いのか考えながら造成しているところである。昔はPTAで、当たり前のように重機

等を持ち寄って造成していただいたが、今はそういう時代でもない。費用のかかることで継続して行う必要があることから、費用対効果を考えながら、持ち帰り慎重に検討したい。

【町長】

授業に関する方針は教育委員会で決定するが、予算を付けるのは町である。経費削減策として、絞った牛乳を運ぶタンクなど中古でも活用することが出来るものがないかということでトライしていた経緯もあるが、結果としては結びつかなかった。リンク造成に関する重機借り上げ料は、議会でも議論いただいているところなので、検討していきたい。

【意見】

道路の舗装工事を今後どのような計画で行っていくのか不明であるが、今後も農作業車の大型機械化が進めば、畑に入る取付道路が、サイズが合わないところが多く出てくる。橋梁は検討していただいた経過があるが、取付道路の拡幅に関してもこれから舗装工事が入った時に、併せて拡幅していただきたい。③

【環境土木課長】

町道を管理している中で、農作業車の大型化により、すれ違いや高さの関係で支障があると意見を多数いただいております。町としても認識している。急速な整備は出来ないが、新たに町道を整備する時には、配慮しながら整備したい。

【意見】

それと、見通しが悪いカーブの危険な箇所もある。収穫機や、ビートの搬入車が通行する時に特に危険で事故が心配である。

【農林課長】

町道や農道、明渠にかかる橋について、ご意見をいただいている。国営の十勝川左岸二期地区に係る国営明渠に関する橋の幅の問題に関して把握しており、橋の先の道路の幅が狭いことも環境土木課とも

共有している。極力農作業に影響のないように、国と連携しながら橋の拡幅に取り組んでいきたいと考えている。

【町長】

全部の場所を一気に整備するということとはできないが、見通しの危険な箇所や、支障木の伐採など随時対応していきたい。農作業車に乗っていると、一般車両と目線の高さが違うから一般車両では分からないという課題もある。

特に危ない箇所は、直接役場に要望していただきたい。道路用地から出ている支障木はすぐに対応できるが、民地から出ているものについては、所有者から同意が必要であるので、対応に時間がかかることはご了承ください。



14：24 終了